

益田赤十字病院広報誌 2015年 春号

高津川 だより

the takatsu river letter



市民公開講座報告

新任医師紹介／専門療法士・認定士紹介／*☪* [仕事の紹介] 医師事務作業補助者

活動報告：季節ごとの行事・イベント／TQM 発表大会報告・看護部取り組み

吉田小・千羽鶴／ひなまつり会

高津川だより

益田赤十字病院広報誌 2015年 春号 2015年5月発行 〒698-8501 島根県益田市乙吉町1-103-1 tel.0856-22-1480 (代表) fax.0856-22-3991 ※病床数 308床

第11回TQM活動発表大会

平成26年度は、5サークルが活動しました。

大会には、QCサークル指導士の津川先生をはじめ、QC活動の先達である益田医療センター医師会病院の事務局の皆様にも参加いただきました。少し緊張した雰囲気の中でしたが、それぞれのサークルがしっかりと発表できました。少しずつですが、みんなが進歩しています。これからも業務改善の取り組みは継続していきたいと思えます。【TQM推進事務局】



各賞	サークル名	所属	メンバー	活動テーマ
金賞	CE	臨床工学技術課	澄川隆、岩田修治、坂根輝昭、宅江昌剛、佐々井 瞬	輸液・シリンジポンプのより良い運用を目指して
銀賞	ラボレンジャー	検査部	大畑滋子、高橋正豊、渡辺拓也、山本和子	日・当直時の「困った！」をなくそう
銅賞	フィッシュ村の村長さん	看護部業務改善委員会	野稲ちなつ、西川夕美子、佐々木洋子、猪俣信子、藤岡美子	気持ちの良い伝達を目指して～あなたの表情も電話の向こうに伝えましょう～
優良賞	ドラミちゃん	看護部業務改善委員会	江藤寛子、杉内友美、森静香、桃木百合子、品川ちなみ、平谷美仁	『効率的な情報収集をめざして』～始業前の情報収集に係る時間の短縮を目指して～
津川賞	ポータブルトイレ活用し隊	看護部業務改善委員会	山崎真由美、堀本恭平、石川由紀子、渡里多美枝、木村敬子、山崎めぐみ	病棟のポータブルトイレの定数を適正配置し、貸し借りを削減しよう～貸し借り削減で業務をスリム化～

看護部平成26年度取り組み発表会

当院の看護提供方式は、固定チームナースングです。この方式を有効に活用するため、固定チームナースング推進委員会があります。推進委員会は、リーダーシップ研修やリーダー研修、また、各チームの一年間の活動を報告する『取り組み発表会』も企画・運営します。

この度、平成27年2月14日(土)に11題のポスターセッションと6題の口頭発表を行いました。

「ベッドサイドで療養環境を整えるためウォーキングカンファレンスを導入した取り組み」「切迫早産患者の療養生活を支援するためびよまタイムと名付けた活動の紹介」「ADL低下予防に向け段階的離床表を使用して早期離床を行った報告」など、チームが受け持つ患者の特性を生かしたさまざまな成果発表がありました。

会場では、自由な質問や意見交換があり和気あいあいと楽しく、有意義な交流

の場となりました。参加者からは、「他部署の取り組みや内容を直接聞けてとても勉強になる」や「今後の取り組みに自部署でも取り入れたい」とか「情報交換が出来て、やる気が繋がった」「チームリーダーとして取り組んだ成果を皆と共有でき、たくさんの人に認められうれしかった」などの感想が寄せられました。発表会の所要時間は、3時間であったという間に過ぎました。

発表会終了後に推進委員が、来年の取り組みに向けて「目標立案について」の講義を行いました。「来年度の目標立案や取り組みに活かしたい」という意欲的な声が聞かれました。

また、平成27年6月27日(土)に第18回固定チームナースング島根地方会が当院で開催されます。色々な施設からの事例発表と西元勝子先生の基調講演が予定されています。詳しくは看護部にお問い合わせください。【看護部】





多数の皆様にお越しいただき、ありがとうございました。当日の様子をご報告いたします。

益田赤十字病院 市民公開講座開催報告

また、お越しいただいた方にアンケートを実施し、たくさんのご意見をいただきました。お答えいただいた内容を一部ご紹介し、今後の市民公開講座の参考とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

日時:平成27年1月30日[土]
場所:益田赤十字病院8階講義室
参加者:155名
アンケート回答数:122名

基調講演「地域医療構想と地域包括ケアの構築」
パネルディスカッション
テーマ「地域医療構想策定を踏まえ、地域包括ケアの実践をどうすすめるか」



講師:島根県医療政策課 医療専門員 杉谷 亮 先生

現在の医療・介護をめぐる国の動向として、「地域医療ビジョン」、「地域包括ケアシステム」について説明していただきました。

地域医療ビジョンとは医療機能別(急性期・回復期・慢性期・在宅療養)の将来の必要量を推計し、地域の医療提供体制の目指すべき姿を示すものです。県は、二次医療圏ごとに地域医療ビジョンの策定を進め、医療機関の機能分化・機能連携を推進します。

また、地域包括ケアシステムとは地域の実情に応じて、高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が包括的に確保される状態をいいます。

この益田圏域でも地域を基盤とした、地域医療・在宅医療・地域包括ケアを進めましょうとお話いただきました。

基調講演



座長:村下 伯 (益田保健所長)
パネリスト:大塚 哲也 (益田赤十字病院 副院長)
狩野 卓夫 (益田市医師会 会長)
田中 涼 (益田地域包括支援センター 社会福祉士 介護福祉士専門員)
齋藤 洋子 (すてっぷ居宅介護支援事業所 ケアマネージャー)
山田 理恵 (訪問看護ステーションせきせい 所長 訪問看護認定看護師)

パネルディスカッション

村下保健所長に座長を務めていただき、「地域包括ケアの実践」として、パネリストから脳卒中で左半身に麻痺が残る患者に対し、医師、地域包括支援センター、ケアマネージャー、訪問看護師がそれぞれどのように関わり、ケアするかを詳しく説明していただきました。

次に、地域包括ケアを実施するにあたり、今後の課題として病院・病院間、診療所間の連携、医療・介護福祉・保健などの連携がより必要となること、益田圏域に訪問看護ステーションの数が少ないことなどの課題が提起され、会場にお

越しいただいた皆様と共にこの地域での医療を考える機会となりました。

今回の内容についての ご意見

「福祉関係」医師、行政、各専門職の意見等が生々の声で聴くことが出来て勉強になりました。若い人から高齢者が住みやすい町(益田市)になるのかなど期待できる内容でした。各職種、人材不足の問題もあると思います。自分には何が出来るのかを考えてみたいと思いました。

「福祉関係」事例をあげていただき、良かった。多職種の方々の連携情報の共有、地域の力を生かすことの大切さを改めて感じました。

「行政機関等」高齢化がすすむ中で、医療や介護を必要とする方々も増加する中で、地域で暮らせる体制を作っていくことは大切なことだと思います。医療と介護、地域がより連携していくことが必要なことだと思います。

「一般」具体事例についてのパネルディスカッションについてはよくわかりました。基礎的知識不足(私自身)で理解できないことがあったか考える、学ぶ機会になりました。

「一般」杉谷先生の展望を含めた構想は考えさせられる事や県民一人ひとり考えなければならぬ課題が多かった。

「一般」知らなかった職種の内容が知れてよい機会となった。包括ケアが

市民公開講座についての ご意見

「医療機関」今後も今回のような事例を通じて、一般市民と共に学べるようにと思います。

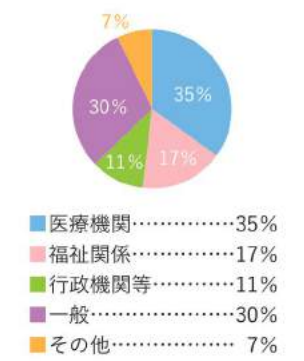
「行政機関等」今後も定期的に益田で必要なシステムについて考える機会を作ってほしい。

「一般」今回初めて参加させていただきました。ありがとうございます。このような学びの場、話し合いの場があればぜひ参加したいと思えます。私達も町づくりに市民として考えており、参加したいと思えます。

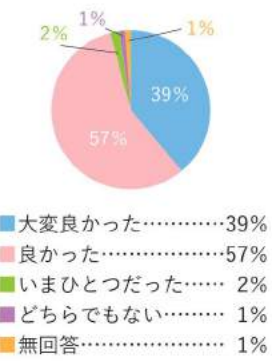
今後の市民公開講座で 取り上げて欲しい内容

「福祉関係」災害時の支援の体制づくり
「一般」がん緩和ケアについて
「その他」認知症初期対応について

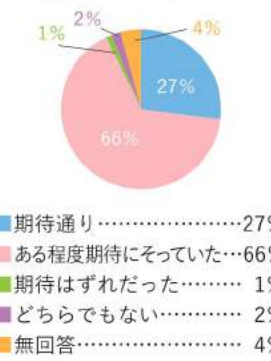
Q.職種を教えてください



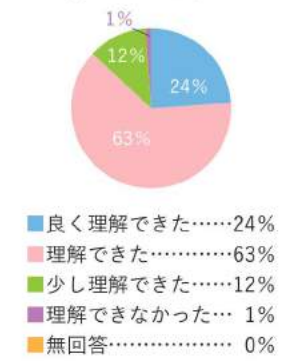
Q.テーマについてはいかがでしたか



Q.内容についてご期待にそえましたか



Q.内容についてご理解いただけましたか



4月から新たに7名の医師と
3名の初期臨床研修医が着任しました。

新任医師紹介



はっとり しんじ
服部 晋司
職名/ 第四外科部長
趣味/ スキー、魚鑑賞
抱負/ 「互いに切磋琢磨し成長してきたもの同士が、時を経て、互いに手をとりあい優れたところを尊重し共有する」そんな益田市になれるように架け橋になりたいです。医師不足・医療崩壊の巨大な砂漠化の波を食い止め、将来の私の「主治医」を育てたいです。

H27年4月1日付



くろだ ひろあき
黒田 紘章
職名/ 循環器科医師
趣味/ 音楽・映画鑑賞、野球観戦、ドライブ
抱負/ いつも笑顔で、患者様のためにフットワークを軽くしていきたいです。

H27年4月1日付



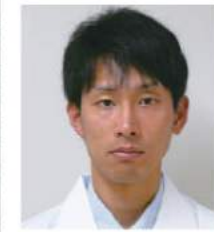
たにうら たかひと
谷浦 隆仁
職名/ 外科医師
趣味/ 釣り
抱負/ 益田高校を卒業して、はや10年。島根県西部の医療に貢献できるように日々頑張っていこうと思います。よろしくお願いいたします。

H27年4月1日付



とくどう むつみ
徳堂 睦美
職名/ 研修医
趣味/ 散歩、音楽鑑賞
抱負/ 福井県出身の私ですが、益田で初期研修を迎えることができ嬉しく思います。不勉強な点は多々ありますが、皆様のご指導の下で知識と技術を身につけ一人一人を丁寧に診ることのできる医師になれるよう頑張ります。

H27年4月1日付



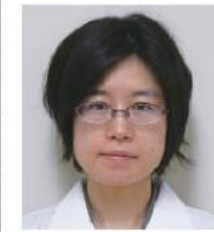
いなもと しゅんすけ
稲本 隼佑
職名/ 研修医
趣味/ 運動、スポーツ
抱負/ こんにちは、4月から益田赤十字病院で勤めさせていただきます。稲本隼佑とさせていただきます。分からないことだらけですが、地域の皆様に少しでも貢献できるよう、常に全力で学んでいこうと思います。よろしくお願いいたします。

H27年4月1日付



ふるた こういちろう
古田 晃一郎
職名/ 医療技術部部長
趣味/ バスケット、自転車、ランニング、魚飼育、魚釣り
抱負/ 益田の医療をしっかり守り、市民が安心して暮らせる未来を夢見つつ、そのことに少しずつでも貢献できるよう頑張っていければと思っています。

H27年4月1日付



なびか ようこ
並河 瑤子
職名/ 神経内科医師
趣味/ 読書
抱負/ 患者さんの心に寄り添う診療を目指しています。どうぞよろしくお願いいたします。

H27年4月1日付



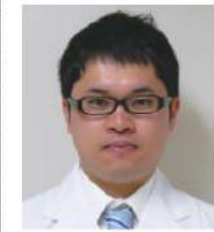
たけの あゆむ
竹野 歩
職名/ 内科医師
趣味/ 卓球
抱負/ 島根大学の内分泌代謝内科から来ました竹野歩と申します。1年間、糖尿病を中心に診療させて頂くこととなりました。病院スタッフの方々と連携を十分に取れるよう頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。

H27年4月1日付



どかい としゆき
土海 敏幸
職名/ 第一整形外科副部長
趣味/ 野球、バスケットボール、映画鑑賞
抱負/ 10年前に江津で勤務して以来、久しぶりに島根県西部に赴任しました。地域のニーズに合った医療を提供できるよう頑張ります。専門は脊椎脊髄疾患ですが、一般外傷のほか、人工関節もご相談して頂ければ幸いです。

H27年4月1日付



きりた かおる
桐田 郁
職名/ 研修医
趣味/ 登山、体を動かすこと、ドラム
抱負/ 私は生まれてから高校を卒業するまでの18年間を益田で過ごしました。生まれ育ったこの地で研修を行うことで、今益田が必要とされている医療を肌で感じながらしっかり学んで実のある2年間にしたいと思います。

H27年4月1日付

日本静脈経腸栄養学会 栄養サポート(NST)専門療法士

看護師 寺戸 ゆり



約1年半にわたっての研修や、学会に参加させて頂き、また皆様の支えがあり、今年度の試験に無事に合格することができました。栄養とは奥深いものであり、栄養療法の効果は偉大であると感じています。栄養面がしっかりしていれば元気になると思います。やはり、「食べること」は大切なことであるとつくづく感じています。

当院の栄養サポートチーム(Nutrition Support Team: NST)の詳細について、少し説明させて頂きます。栄養サポートチーム(NST)のメンバーは、医師・歯科医師・管理栄養士・看護師・薬剤師・臨床検査技師・言語聴覚士・理学療法士・歯科衛生士の多職種から構成されています。

それぞれの知識や技術を生かし、最良かつ患者さんに最もふさわしい方法で、栄養状態を良好に保つことを目的に活動しています。



当院では、毎週木曜日の午後集まり、各病棟の回診を約1時間半かけて行っています。回診では、主に食事が十分に摂取出来ない患者さんや、栄養状態の低い患者さんを対象に、摂取量が少なく、食べられない時の対応など、病棟看護師やチーム全体で話し合い、栄養状態の改善に努める活動を行っています。

私もメンバーとして、微力ながら患者さんの力になれるよう、頑張っていきたいと思っております。よろしくお願ひ致します。

専門療法士・認定士紹介

新しく資格を取得した専門療法士を紹介します。

3学会合同呼吸療法認定士

リハビリテーション技術課 理学療法士

吉山 和宏



呼吸療法とは血液中の酸素濃度が低い場合などに、行う酸素療法、薬液を吸入する吸入療法、気道にチューブを入れて行う人工呼吸療法、呼吸機能が低下してしまった患者様の呼吸訓練等の呼吸理学療法などがあります。

呼吸療法認定士は呼吸の専門的な知識と技術を持ち合わせたスペシャリストが有する資格です。当院には現在、臨床工学士2名、看護師・理学療法士・作業療法士に各1名、計5名の認定士が在籍しています。

私は理学療法士として呼吸器疾患、人工呼吸器を装着中または抜管前後、外科の手術後に呼吸機能の低下した患者さんに対し、日常生活動作における息苦しさの改善を目的とした呼吸法訓練や呼吸筋を含めた全身の筋力トレーニング、リラクゼーション、または肺などの気道に溜まっている分泌物を排出するための排痰法などを実践しています。

今後は他の認定士と共に、それぞれの専門性を活かし、積極的に患者さんの治療に関わっていきたいと思います。



みなさんは、「医師事務作業補助者」は何をするお仕事かご存知ですか？

これは厚生労働省が診療業務と診療以外の書類作成等で多忙な病院に勤務する勤務医の負担軽減のため、平成19年より推進している医師の仕事をサポートする職種です。



[仕事の紹介]

医師事務作業補助者とは

当院には、平成27年4月現在、15名の医師事務作業補助者が勤務しています。
外来受診をされた際に、医師の横で電子カルテのパソコンを操作している人を見かけた方もおられるのではないでしょうか？
主な仕事は、医師の指示のもと、患者さんの



医師の指示のもと電子カルテ入力を行っています。

症状や治療に関する記録を、電子カルテに入力したり、薬の処方・注射・検査・診療予約などのオーダー(依頼)入力をしたり、検査などのための同意書の作成などを行っています。医師事務作業補助者が業務を分担することで、医師の負担軽減と、併せて診療がスムーズに行われ、患者さんの外来待ち時間短縮につながります。診察室で私たちは患者さんのプライバシーに触れることになりませんが、医師事務作業補助者の役割をご理解いただければと思います。(※お申し出があれば、退席をいたします。)

その他、依頼のあった生命保険等の診断書・介護保険の主治医意見書など近年増えている多種多様な書類を、医師に代わって記載・入力する業務も行っていきます。



▲知識向上のため研修を行っています。

今後は、知識と技術のレベルアップをしながら、多忙な医師の業務をサポートすることにより、良質な医療の提供に貢献したいと思えます。

活動報告

季節ごとの行事・イベント

2015年1月～3月

千羽鶴寄贈



折られた千羽鶴を、院長に手渡ししました。また干支をモチーフにした「しおり」を直接患者さんにプレゼントし、作成の様子を収めたポスターを看護部長に手渡ししました。
当院としても、幅広くボランティアを受け入れていきたいと思えます。

平成27年3月4日(水)、益田市立吉田小学校の福祉活動委員会の17名の児童が、千羽鶴を届けて下さいました。
当院の患者さんに「早く元気になるってほしい」と願いを込めて



ひなまつり会



平成27年3月12日に6東病棟ブレイクルームでひなまつり会が行われました。

最初は「ひなまつりの歌」を歌うのを照れていた児童も、実習に来ていた看護学生に声をかけられ、徐々に声も出てきていました。ひな人形作りもかなり苦戦していましたが、

看護学生の手助けもあり、かわいいものが出来ました。とても和やかな会となりました。
また、各病棟でも飾り付けがあり、桃の花など春の訪れを感じることができました。

